

全体研修会「大空へはばたこう ～自立への挑戦～」映画上映会

毎年、いろいろなテーマで研修会を行い、新しい知識を得て民生委員、児童委員の活動に活かしています。

今年は、「知的障害者が自分らしい暮らしをするためには」というテーマの標記映画の上映会を通じて知見を深めました。

一般の方にも参加いただきとても有意義な研修会となりました。



青木中央地区
柏井 美紀

主任児童委員の活動

主任児童委員は、多様化する子どもの育ちや子育てを取り巻く状況について各地区担当民生委員と情報共有しながら、子ども支援活動を進めています。

神奈川県独自のネットワークとして主任児童委員が中心となり「子ども支援事業実行委員会」を立ち上げ、現在では居場所支援、食事支援、学習支援等の活動が広がっています。これからも、地域の子どもたちの健やかな育ちと養育者を支えていきたいと思ひます。

神奈川県主任児童委員連絡会
代表 伊東 良恵



編集後記

今号は、「わが地区の自慢の活動」をメインテーマに掲載しました。

この広報紙をお読みになる多くの皆様にとって民生委員、児童委員の活動をご理解いただくための手助けとなることを願っています

神奈川県民生委員児童委員協議会
研修企画委員会

30年をふりかえって

結婚と同時に、主人の両親と同居で、三人の子育てをしておりました。姑をおくって一年後の47才で委嘱を受けました。

私でお役に立てるのか不安の中での出発でした。

今は、主人もおくり、長男家族と二世帯に建て直して、孫は大学生を筆頭に三人、にぎやかに暮らしております。忙しい日々でしたが、家族に支えられ、健康にも恵まれ三十年、今に至りました。区会長を拝命して、横浜市や全国の民生委員と交流する機会をいただき、視野を広げることができました。今年の12月には多くの委員が変わり、新しい組織となります。

私は、町内会で立ち上げた、高齢者配食とカフェで、年をとっても元気なうちは人の役に立ちたいという人々と共に歩んでいきます。多くの友人と多くの経験ありがとうございました。

神奈川県民生委員
児童委員協議会
会長 今井 典代



神奈川県 民児協だより



第13号

令和7年9月発行
発行 神奈川県民生委員児童委員協議会
民児協・・・民生委員児童委員協議会の略称
民生委員・児童委員・・・以下民生委員と表記

こんにちは民生委員・児童委員です ～地域の身近な相談役として活動しています～

民生委員・児童委員

地域の皆さんの身近な相談相手として相談に応じ、区役所や専門機関をつなぐパイプ役として活動しています。

主任児童委員

子どもへの支援を専門に担当する民生委員・児童委員。相談内容に応じて、行政や学校、児童相談所等と連携して、子どもの健全育成に取り組んでいます。

こんなときにご相談ください

- ひとり暮らしの高齢の親が心配
- 高齢になり、暮らしに不安を感じる
- 子育ての悩みを相談したい
- 経済的に余裕がなく、生活に不安を感じている
- 障がいがあり生活に不安を感じている など

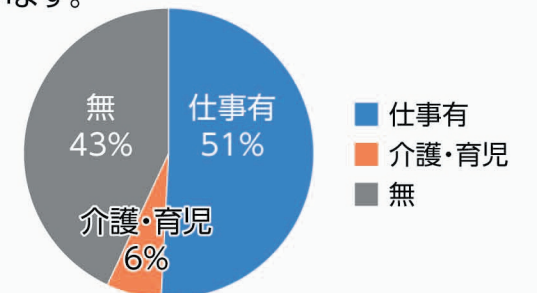


相談内容に応じて、区役所や専門機関におつなぎします

民生委員ができないこと

- ・救急車の同乗はできません
- ・買い物代行等、生活支援はできません
- ・金銭の管理の引き受けや保証人になることはできません

神奈川県では約300名の民生委員が活躍しています。仕事、あるいは介護・育児をしながら、活動と両立している委員が半数を超えています。



(令和3年度7月実績 民生委員(2期以上)活動状況に関するアンケート参照)



●特集● わが地区の自慢の活動 第2弾

担当地区: 子安入江

応急手当

地区では幼児を対象として、毎月第1月曜日「すくすくかめっ子」12月第1土曜日「幼児クリスマス会」を実施しています。地区民児協で、子どもの病気やケガは予測が難しく、急激に症状が変化することからいざというときに慌てずに対応できるように幼児の救急救命法講習会の提案があり実施しました。

私たちは、かめっ子や個別訪問先等でいつ病人やケガ人に遭遇するかもしれません。その時、迅速に適切な応急手当を実施しなければなりません。今後も、全員が自信を持って応急手当が実施できるよう活動を継続していきます。



担当地区: 白幡

やまゆりの会

白幡西町の自慢の活動は、高齢者を対象にした「やまゆりの会」です。この会では、月に一度、配布用のお菓子を用意し、お顔を見せて西町会館にお越しいただいています。会館ではおいしいコーヒーを提供し、お茶菓子をつまみに近況を話す時間になっています。最近の企画では、フラダンスの体操を取り入れて体を動かしています。今後も、手やカラダを使って、少しでも健康に元気でお会いしたいです。



担当地区: 神奈川

高齢者と子供たちとの多世代交流会

地区内3か所で高齢者と小学生、保育園児との交流会を実施し、多世代間の交流を推進しました。

- ①神奈川小学校では、6年生主催のお祭りに民児協ブースを開設し、高齢者と近隣幼稚園を招待して、3世代で交流しました。
- ②コットン地区では、YMCA保育園バザーに高齢者ブースを出店。ゲームコーナーも高齢者が開設し、園児や卒園者と交流しました。
- ③東神奈川公園では、近隣3保育園に呼び掛け、高齢者がサンタやトナカイとなり、園児たちを招待して、一緒にクリスマス会を楽しみました。



担当地区: 青木第一

わが地区の自慢の活動

授業で取り組んだ伝統工芸「組紐」を大人に教える小学生の熱気が部屋一杯に。

別の日にはモンゴルの方が映像を使ってモンゴル文化を紹介。モンゴルのお茶とお菓子を頂きながらあれこれ質問が出て、話が尽きません。

これは松ヶ丘の「広場まつぼっくり」での一光景です。

多世代、多文化、多地域交流をめざして、ふれあい活動員5人で沢山の方が興味を持てるような企画を考え、年3回、日曜日に開催しています。



担当地区: 片倉

親子がホッとくつろげる空間

片倉地区では民生委員活動の一つとして、すくすくかめっ子を実施しています。片倉台団地の集会所を会場に、毎月第一金曜日(1月、5月を除く)10時~12時に開催していますが、集会所はとても広く明るく、おもちゃも沢山あり自由に遊べます。

ママさんパパさん達にとって、ホッとくつろげる空間だと思います。

そして安心して子どもを遊ばせながら、情報交換や子育てのヒント等を言い合える親子のたまり場として喜ばれています。



担当地区: 菅田

輝け菅田の子フェスティバル

子供会協議会を開催し、1年間かけて準備をしてきた『輝け菅田の子フェスティバル』。天気予報は雪から雨へと変わったものの当日は朝から寒い寒い雨降り…。どうなる事かと思いましたが、傘と長靴姿で354人の親子と沢山のボランティアさんが参加してくれました。節分にちなんで、赤・緑・黄・黒鬼のブースを作り鬼の由来を知ってもらい、楽しんでもらう事ができました。帰りに『またやりたーい』と言ってくれた子ども達の声と笑顔で、スタッフ一同の疲れもフツ飛びました。

